



コミュニティ×エコツーリズムとの出会い

マレーシア

BENGKEL PEMANGUNAN KAPASITI HOPES DAN ECO-TOURISM
13-14 Juli 2020

MEA

コスタリカ

ネパール

南極

ベラルーシ

ケニア

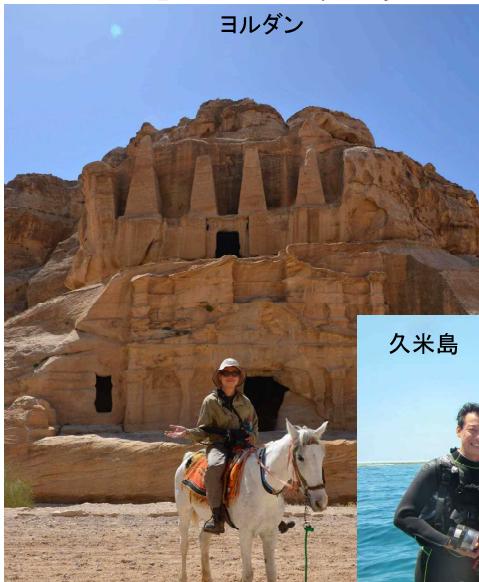
<https://www.asianecotourism.org/>

<https://www.tourism4sdgs.com/>

Tourism for SDGs
観光でSDGs達成と持続可能な地域づくり

アドベンチャー×エコツーリズムを生業に!

ヨルダン



モンゴル



久米島



知床



<https://www.asianecotourism.org/>

<https://www.tourism4sdgs.com/>

Tourism for SDGs

観光でSDGs達成と持続可能な地域づくり

アドベンチャー×エコツーリズムを生業に!

知床半島一周シーカヤックツアー



知床連山縦走ツアー



<https://www.asianecotourism.org/>

<https://www.tourism4sdgs.com/>

Tourism for SDGs

観光でSDGs達成と持続可能な地域づくり

地域×観光×旅行会社×登録有形文化財家主



<https://www.asianecotourism.org/>

<https://www.tourism4sdgs.com/>

Tourism for SDGs

観光でSDGs達成と持続可能な地域づくり

持続可能な観光認証団体・アワード×審査員



UNWTO本部ST部会・WTTC・ナショナルジオグラフィック・ITBベルリン・グリーンデスティネーションズ・ASEAN・APEC

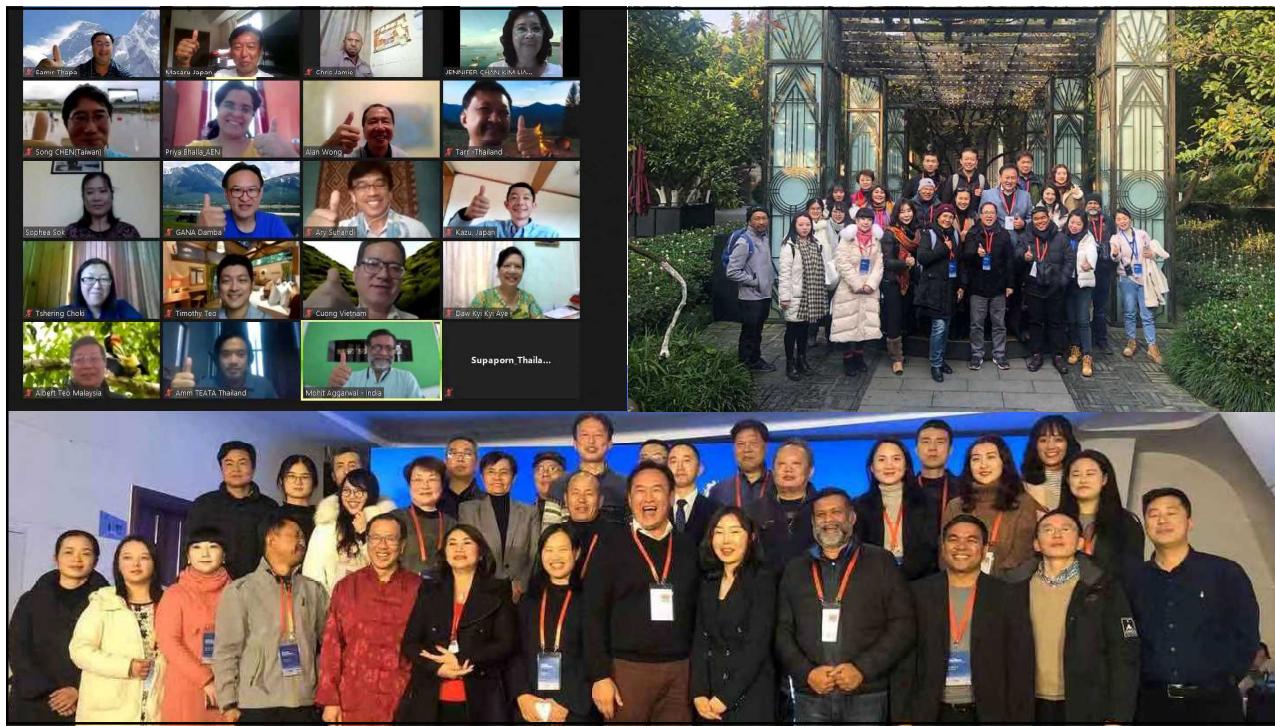
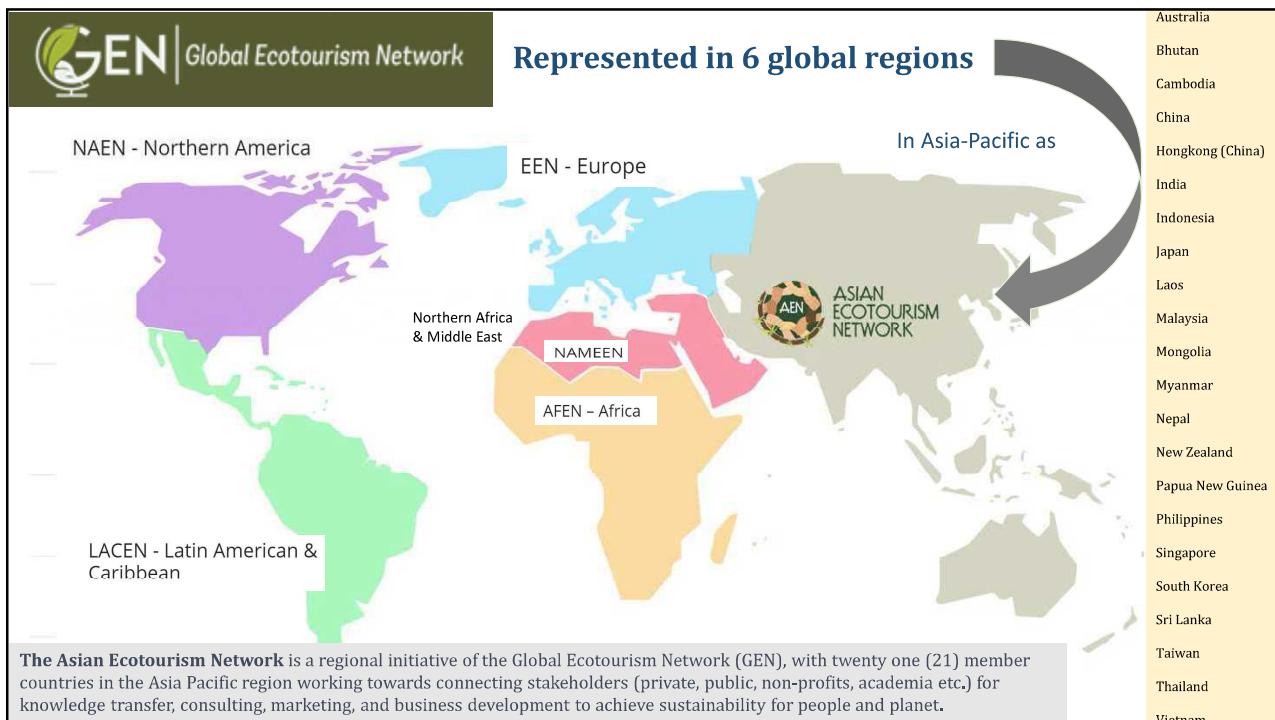


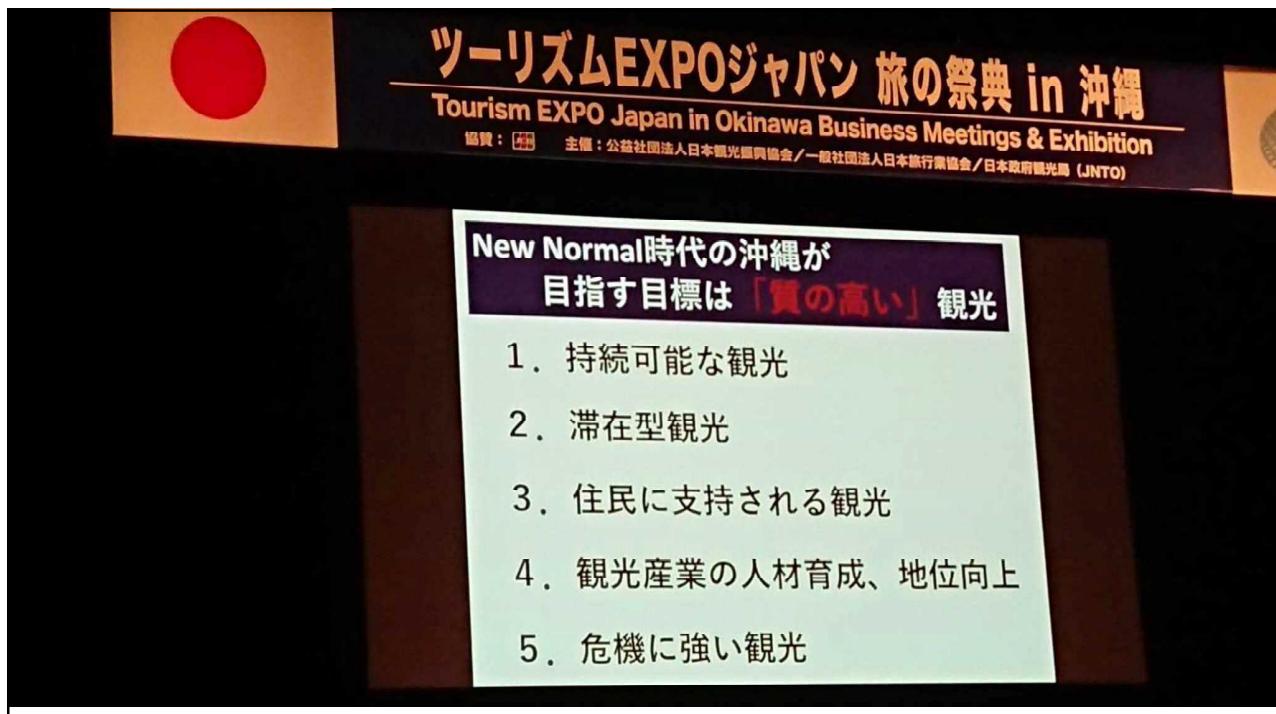
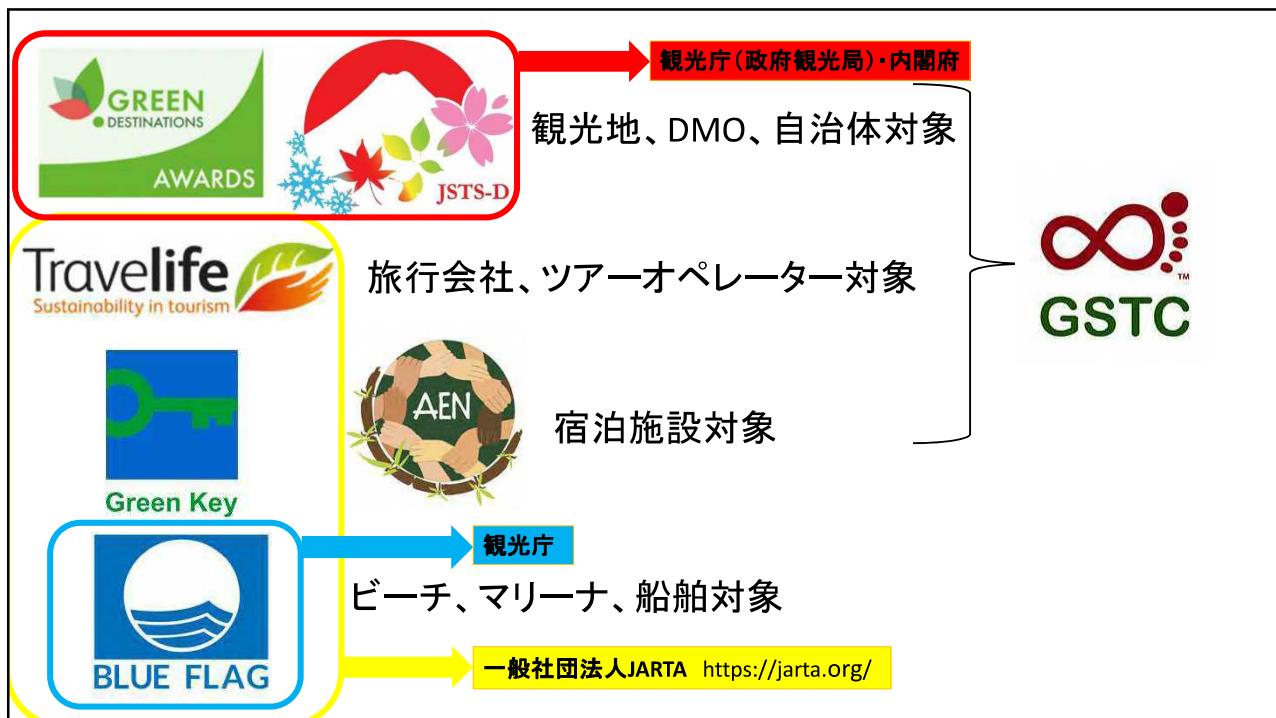
<https://www.asianecotourism.org/>

<https://www.tourism4sdgs.com/>

Tourism for SDGs

観光でSDGs達成と持続可能な地域づくり





- ・観光立国を目指し訪日客数が増える一方で、一部の地域では観光公害が問題視されています。例えば、過剰な観光客が押し寄せてしまうオーバーツーリズムや、旅行会社主導の利益を追求するあまり観光地への還元が制限されてしまうことなどです。
- ・数の論議ではなく、少数が訪れる観光地でも経済効果を最大限に還元できるよう、節度ある観光に転換し、より多くの地域住民の支持を仰ぎ、地域の特色を助長し持続可能な開発目標に寄与する観光の発展に寄与しましょう。
- ・持続可能な運営や経営を国連が推奨する国際基準や認証制度を活用し、誰でも実践できる改善活動を実践しましょう。

【持続可能な観光とは？】

旅行者、産業、環境および
地域コミュニティのニーズを
満たしつつ、
現在と将来にわたる経済・社会・
環境への影響を十分に考慮した観光



Japan, 2021年6月4日



ブッキング・ドットコム、2021年の「サステイナブル・トラベル」に関する調査結果を発表

～ブッキング・ドットコムが、サステイナブルな旅行の実現に向けて今できることを新提案～

[2021年6月4日、日本時間]

多種多様な宿泊施設や旅ナカ体験、旅行中のシームレスな移動手段を提供する世界最大級の宿泊予約サイトBooking.comの日本法人ブッキング・ドットコム・ジャパン株式会社（本社：東京都港区 以下：ブッキング・ドットコム）は、30ヶ国にわたる29,000名以上の旅行者*とパートナー施設**を対象に実施した2021年度版の「サステイナブル・トラベル」に関する調査結果を発表します。本調査では、人々の旅行先の環境やコミュニティなどに配慮したサステイナブルな旅行への考え方や、パートナー施設のサステイナブルな取り組みが明らかになりました。

■日本の旅行者の42%が、コロナ禍でサステイナブルな旅行を意識！

新型コロナウイルス感染症をきっかけに、人々がライフスタイルを見直していく中で、サステイナビリティに対する意識が変化していることを明かにした本調査では、日本の旅行者の43%が「次世代のために環境を守っていくには今すぐ行動する必要があると考えている」と回答しました。さらには45%の日本の旅行者が「日常においても環境に配慮したサステイナブルな取り組みを行っていきたい」としている中で、既に51%はリサイクルに取り組み、42%がフードロスの削減に努めていると回答、前向きにサステイナブルな活動に取り組む人が多くいることが判明しました。サステイナビリティに対する意識の変化は旅行に対しても同様で、日本の旅行者の82%が「旅行において、サステイナビリティが非常に重要だ」、42%は「新型コロナウイルス感染症の影響で、よりサステイナブルな旅行を望むようになった」と回答しました。再び安全かつ自由に旅行が楽しめる日が来た時には、より環境に配慮したサステイナブルな旅行への需要が高まっていくことが予想されます。

「旅行において、サステイナビリティが非常に重要だ」と回答した日本の旅行者は

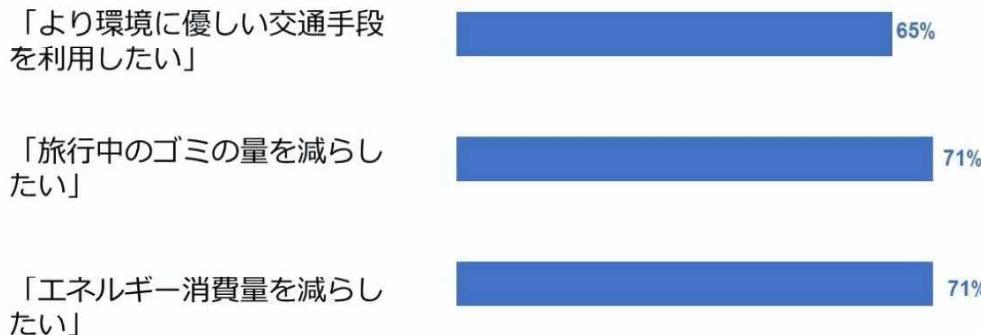


Booking.com

■旅行者が旅先で行いたいサステイナブルな取り組みとは？

本調査では、「旅先でどのようなサステイナブルな取り組みに参加したいか」という点についても触れており、日常でも行えるサステイナブルな取り組みを旅先でも継続的に行うつもりであることが伺えます。調査結果によると、日本の旅行者の71%が「ゴミの量を減らしたい」また「エネルギー消費量を減らしたい（部屋を出る際にエアコンや電気を消すなど）」、65%は「より環境に優しい交通手段（タクシーやレンタカーの代わりに歩くや自転車、公共交通機関など）を利用したい」と回答しており、日常でも行えるサステイナブルな取り組みを旅先でも継続的に行いたいとする声が半分以上を占めました。

日本の旅行者が旅先で取り組みたいサステイナブルな取り組み ～環境編～



Booking.com

日本の旅行者が旅先で取り組みたいサステイナブルな取り組み ～現地コミュニティー編～



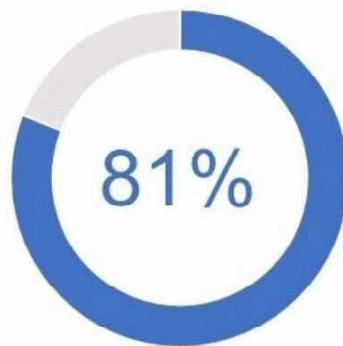
Booking.com

■日本の旅行者の過半数は、サステイナブルな宿泊施設の存在を知らない！？

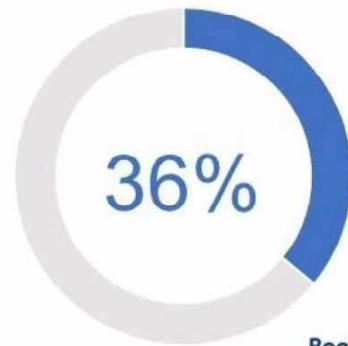
調査結果によると、既に旅先でサステイナブルな活動に取り組んでいる日本の旅行者がいることも分かっています。例えば、日本の旅行者の36%は「過去12ヶ月間の旅行で部屋を出るときに意識的にエアコン／ヒーターを消した」としており、さらに22%は環境への配慮として「旅行中にペットボトル容器に入った飲料水を買わずにマイボトルを持参した」と回答しました。一方で「現地のコミュニティをサポートするためのアクティビティに参加した」と回答した世界の旅行者が33%であることに対し、日本の旅行者はわずか14%に留まっており、世界と日本の意識や行動にはまだ差があることが明るみになっています。

「今年はサステイナブルな宿泊施設に滞在したい」と回答した

世界の旅行者



日本の旅行者



Booking.com

例えば、「過去1年間でサステイナブルな宿泊施設に滞在しなかった」と回答した日本の旅行者は61%にも上り、そのうち54%が「そのような宿泊施設の存在を知らなかった」、22%が「行く予定の旅先にはそのような宿泊施設の選択肢がなかった」、28%が「探し方がわからなかった」と回答しています。さらに日本の旅行者の45%が、「2021年現在ではサステイナブルな旅行の選択肢が十分でない」と感じていることが分かっており、宿泊施設による取り組みおよび訴求や、旅行者がサステイナブルな宿泊施設を探す仕組みが不十分であることが伺えます。

GSTC・産業向けの基準(宿泊・ツアーオペレーター) ・観光地向けの基準

専門家、世界中の団体や企業の協力を得て、サステイナブルツーリズムを信頼性があり、実施可能かつ測定可能な方法で定義づける共通のガイドラインを作成。世界中の観光産業と観光地用に持続可能性を裏付ける基本的な基準を設定。

A set of common guidelines created with the input of experts, groups and companies from around the world, defining sustainable tourism in a way that is actionable, measurable and credible. Setting a minimum standard of sustainability for tourism businesses and destinations across the globe.



The GSTC 観光地用基準

Criteria for Destinations

観光地用基準は一番広く普及している観光の取り組みを強調する

The Criteria for Destinations outlines the most widely accepted sustainable tourism practices for destinations.

- The 41 基準 criteria include 105 指標 indicators with 4 目的 objectives:

1. **持続可能な観光地管理を実証する** Demonstrate sustainable destination management (43)
2. **ホストコミュニティーの社会経済的利益を最大化** Maximize social and economic benefits for the host community (21)
3. **コミュニティー、訪問客、文化遺産に利益の最大化** Maximize benefits to communities, visitors, and cultural heritage (13)
4. **環境への利益を最大化** Maximize benefits to the environment (28)



GSTC 地域基準

第 2.0 版

2019 年 12 月 6 日

翻訳
推奨評価指標と SDGs

本基準は、GSTC 正式の条件に従い、GSTC 地域基準の最初の改訂版として、GSTC 國際基準ワーキンググループによって正式に承認された後、GSTC 理事会にて正式に採択されました。

© The Global Sustainable Tourism Council, 2019, All Rights Reserved
The Global Sustainable Tourism Council
PO Box 96503 • #51887
Washington, DC 20090 USA
info@gstcouncil.org
www.gstcouncil.org

1
www.gstcouncil.org/gstc-criteria/criteria-translations/

<https://www.gstcouncil.org/gstc-criteria/criteria-translations/>

セクション A: 持続可能なマネジメント	
A(a) マネジメントの組織と枠組	
<p>A1 地域マネジメントの責任</p> <p>官民と市民の参画の下で、連携して持続可能な観光を推進することに責任を持つ組織、部局、グループや委員会を組織していること。これらの管理組織は、社会経済、文化、環境に関する課題への対応に責任を持ち、監督及び実行する能力を有していること。同組織は、十分な資金を有し、地域マネジメントを実行するに当たり、多様な組織と連携し、十分な人材（持続可能性の分野で経験を有する人材を含む）を有し、運営や経済活動における持続可能性と透明性の原則に従っていること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> a. 管理組織の構成と責任について明記した文書を作成していること。 b. 現在及び将来の財源を明記した資金計画と予算があること。 c. 他組織との連携や協働に関する記録を有すること。 d. 正規雇用・契約雇用の職員が適切な職務経験を持つことを示す記録を有すること。 e. 運営や契約締結に際し、持続可能性の原則や透明性への理解に沿ったガイドラインや手順を有すること。 <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="flex: 1;">  <p>16 PEACE, JUSTICE AND STRONG INSTITUTIONS</p> </div> <div style="flex: 1;">  <p>17 PARTNERSHIPS FOR THE GOALS</p> </div> </div>

A5 住民参加とフィードバック	
<p>持続可能な地域計画やマネジメントに関して住民の参加を可能とし、それを促進していること。地域コミュニティにおける観光の持続可能性や地域マネジメントへの期待、懸念及び満足について定期的に調査し、結果を公表し、必要に応じて対策を講じていること。持続可能な観光への可能性や課題について地域の理解を深め、コミュニティの対応力を高める仕組みを構築していること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> a. 持続可能な地域計画やマネジメントへの住民参加の促進、実施に関する記録を有すること。 b. 参加の形式と度合いに関する情報を有すること。 c. 観光に関する課題に対して、住民調査やその他体系的なフィードバックの仕組みを構築していること。 d. 住民の意見への対応策に関する記録を有すること。 e. 住民に提供される観光に関する情報、教育、トレーニング等の取組を行っていること。 <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="flex: 1;">  <p>17 PARTNERSHIPS FOR THE GOALS</p> </div> <div style="flex: 1;">  <p>11 SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES</p> </div> </div>

A9 計画に関する規制と開発管理	<p>開発地の立地と特性を管理し、環境・経済・社会文化への影響評価を必須とし、持続可能な土地利用、設計デザイン、建設、解体を総合的に含むガイドライン・規制・方針を設定していること。観光を目的とした不動産賃貸や土地使用権を含む運営に関する規制があること。<u>ガイドライン・規制・方針は、市民参加の下に設定し、広く周知・実施していること。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> a. 開発を管理するための特定の方針・規制・ガイドラインがあり、表題と日付を明記した文書となっていること。 b. 環境・経済・社会文化への影響を含んだ影響評価に関する要件を明記し、それは地域における長期課題に対応するために適切な規模となっていること。 c. 観光の目的に特化した不動産賃貸や運営に関する規制があり、その適用や実施についての記録を有すること。 d. 方針・規制・ガイドラインの策定過程における市民参加についての記録を有すること。 e. 先住民や少数民族が住む地域において、観光開発に関する提案や実行の際に、地域と協議し合意を得た記録を有すること。 f. 計画、開発及び実施の段階において、方針・規制・ガイドラインの周知と施行についての記録を有すること。 	 	
-------------------------	--	--	--	--

A10 気候変動への適応	<p>気候変動に関するリスクと好機を明確にしていること。観光施設の立地、設計デザイン、開発、マネジメントにおいて、気候変動への適応戦略をとっていること。想定される気候変動の情報や関連するリスク、<u>将来想定される状況を地域住民、事業者、来訪者に伝達していること。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> a. 地域のマネジメント戦略や実行計画は気候変動に関する課題を特定し対応していること。 b. 観光開発や事業活動に関する規制・ガイドライン・ゾーニングは、気候変動の影響を考慮していること。 c. 現状と将来的なリスクを含む、気候変動のリスク評価を行い、公表していること。 d. 気候変動への適応における地域生態系の影響と貢献について検討していることを示す記録を有すること。 e. 気候変動に関する情報を公開していること。 		
---------------------	--	--	---	--



セクションB: 社会経済のサステナビリティ

B(a) 地域経済への貢献

B1 観光の経済効果の計測

観光による地域経済への直接的・間接的な経済効果を定期的に計測し、結果を公表していること。来訪者数、消費額、雇用、投資及び経済利益の分配等を適切に計測していること。

- a. 経済データの収集についての取組を行っていること。
- b. 地域における観光の直接的・間接的な経済効果についての年次報告書があること。
- d. 地域における経済効果を含むデータ（来訪者数、消費額、雇用、投資、経済利益の分配等）があること。



B3 地域事業者の支援と公正な取引

地域事業者、サプライチェーン、持続可能な投資等に対する支援により、観光消費が地域経済への還元を促進すること。また、地域の自然や文化背景を反映した公正な取引の原則に基づく、地域の持続可能な商品の開発や購入を促進していること。商品には、飲食、工芸品、芸能、農産物等が含まれていること。

- a. 観光関連の中小企業を対象とする助言や融資、その他支援体制を整えていること。
- b. 地域の観光関連の中小企業を対象とした市場参入のための支援を実施していること。
- c. 地域の観光事業者による農産物等の地域特産物の購入やサービスの利用を推奨する取組を行っていること。
- d. 地域の農家、工芸職人、食品製造業者が観光バリューチェーンに参入するための支援策があること。
- e. 地域で作られた商品や工芸品等を特定し、来訪者に対して販売促進していること。



<p>B4 コミュニティへの支援</p> <p>事業者、来訪者、市民が責任ある形で地域コミュニティと持続可能性に関する取組への貢献を奨励していること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> a. 地域コミュニティや地域の観光事業者による持続可能性に関する取組への支援を促進していること。 b. 来訪者が地域コミュニティと持続可能性に関する取組を支援する仕組みを構築し、推奨していること。 c. ボランティア活動や地域コミュニティへの関与は、迷惑や搾取になっていないこと。 	 
--	--	--

<p>D11 環境への負荷が少ない交通</p> <p>域外からの移動及び域内移動により排出される温室効果ガスの削減目標を設定していること。持続可能で低炭素の車両や公共交通、徒歩及び自転車等の人力による移動手段を奨励し、観光に起因する大気汚染、交通渋滞及び気候変動の抑制に努めていること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> a. 公共交通や低炭素車両等の、より持続可能な交通インフラへの投資をしていること。 b. 来訪者向けに、域外からの移動及び域内移動の手段について、環境に配慮した代替交通手段の選択を促す情報提供を行っていること。 c. 来訪者による代替交通手段の利用に関するデータを有すること。 d. 自転車や徒歩の機会を拡充し、奨励していること。 e. より持続可能な交通手段によるアクセスが可能な、近隣の市場からの誘客を優先していること。 f. 公共部門と観光事業者は、その運営において環境への負荷が少ない交通を優先していること。 	 
--	---	--

「日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）」について

「日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）」は、持続可能な観光の推進に資するべく、各地方自治体や観光地域づくり法人（DMO）等が多面的な現状把握の結果に基づき、持続可能な観光地マネジメントを行うための観光指標である。

日本の特性を各項目に反映した上で、観光地向けの持続可能な観光の国際基準「GSTC-D（Global Sustainable Tourism Criteria for Destinations）」に準拠した指標となっている。



<https://www.mlit.go.jp/kankochō/content/001350849.pdf>

SECTION D: Environmental sustainability 環境のサステナビリティ

D(b) Resource management 資源のマネジメント

D7 省エネルギー

観光地域におけるエネルギー消費量の削減と効率性の改善及び再生可能エネルギーの使用について目標値を定めていること



- ① エネルギー消費量を定期的にモニタリングし、削減するための取組があること
- ② 化石燃料の依存度を低減し、再生可能エネルギーの使用を促進する政策や取組があること

考え方

- ・2007年ノーベル平和賞受賞者であるスロベニアのリュブリヤナ大学教授・ボガタジ氏の発表：現在、1人の旅行者が使用するエネルギー量は普通の住民の3.5倍。さらに、旅行者は飲み水、食材を通常より多く消費し、廃水、廃棄物、地球温暖化ガスも多く発生させている。
- ・「責任ある旅行者になるためのヒント」（UNWTO）
 - 「私たちの地球を守ろう：水やエネルギーの消費ができる限り削減しよう。」

参考資料 都道府県または事業者別エネルギー消費量別データ／再生エネルギー使用割合

参考資料例

- ・環境にやさしい企業行動調査（環境省）①
<http://www.env.go.jp/policy/j-hiroba/kigyo/>
- ・各種統計情報（電力関連）（経済産業省資源エネルギー庁）①
https://www.enecho.meti.go.jp/statistics/electric_power/ep002/results.html
- ・各種統計情報（エネルギー消費統計）（経済産業省資源エネルギー庁）①
https://www.enecho.meti.go.jp/statistics/energy_consumption/ec001/
- ・「環境報告書2019」について（独立行政法人水資源機構）②
<https://www.water.go.jp/honsya/honsya/tonikumi/kankyo/houkoku/index.html>
- ・地球温暖化・エネルギー対策（神奈川県鎌倉市）①、②
<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kankyo/dantai/dangai.html>
- ・和歌山市地球温暖化対策実行計画策定支援業務 報告書（和歌山県和歌山市）①
http://www.city.wakayama.wakayama.jp/_res/projects/default_project/_page_001/001/009/menu_1/gyouseishihou/shiminishiki/h25/02.pdf

SECTION D: Environmental sustainability 環境のサステナビリティ

D(c) Management of waste and emissions 廃棄物と排出量の管理

D12 温室効果ガスの排出と気候変動の緩和

事業者が、温室効果ガスの排出量をモニタリングし、排出量を削減する取組があること



① 温室効果ガスの排出量をモニタリングし削減する取組があること

考え方

- ・地球環境を維持したければ二酸化炭素濃度を地球レベルで最大350ppmまで低減する必要があるところ、2015年12月には400ppmを超えた。（ジェームズ・ハンセン教授）
- ・UNWTO (2019) Transport-related CO₂ Emissions of the Tourism Sector – Modelling Results
観光セクターにおける輸送関連の二酸化炭素排出量—モデル分析の結果
(脱炭素化に向けた、観光セクターにおける気候変動対策への取組を加速することが重要と指摘)
<https://www.e-unwto.org/doi/pdf/10.1811/9789284416660> (英文のみ)
- ・「空気がおいしいこと」も商品になり得る
(航空券・ホテル等を、世界の航空会社・旅行会社等のウェブサイトから横断的に比較検索するウェブサイトを運営する)
スカイスキャナーでは、一部の航空券検索時に、指定した条件の検索結果の平均よりも何%CO₂排出量を削減できるという「Greener Choice」のフライトが表示される仕組みがあり、1年間で延べ約1,000万人が「Greener Choice」を選択した。

参考資料 温室効果ガス排出量データ/CO₂削減取組に関する計画

参考資料例

- ・温室効果ガス排出量の算定結果（環境省）①
<https://www.env.go.jp/earth/ondanka/ghg-mrv/emissions/results/index.html>
- ・環境にやさしい企業行動調査（環境省）①
<http://www.env.go.jp/policy/j-hiroba/kigyo/>
- ・地球温暖化・エネルギー対策（神奈川県鎌倉市）①
<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kankyo/dantai/dangai.html>
- ・和歌山市地球温暖化対策実行計画策定支援業務 報告書（和歌山県和歌山市）①
http://www.city.wakayama.wakayama.jp/_res/projects/default_project/_page_001/001/009/menu_1/gyousei/shihou/shiminshiki/h25/02.pdf

先行事例

- ・中小企業向け省エネ・CO₂削減ガイドブック～国内クレジット制度を活用して～（経済産業省近畿経済産業局）
https://www.kansai.meti.go.jp/3-9enetai/3_ondanka/cdm/chusho_pamphlet.pdf
- ・地球温暖化防止対策事例集（2006年度改訂版）（社団法人日本経済団体連合会）
<https://www.keidanren.or.jp/japanese/policy/2007/029.html>
- ・二酸化炭素の排出量計算：生活や実務に役立つ計算サイトkeisan
<https://keisan.casio.jp/exec/system/1192427170>

ネクストステップ

- ・CO₂等温室効果ガスの削減に対する取組を行っている観光事業者の数及び同内容を調査、公表している
- ・排出削減比率の目標が公表されている
- ・モニタリングや緩和対策が含まれた気候変動に関する年次報告書が毎年発行されている
- ・温室効果ガス排出削減・軽減に向けた支援キャンペーンなどを行っている
- ・公共セクターの事業を起因とする温室効果ガス排出削減対策を行っている
- ・現存の規制に準ずるオフセット計画について、事業者と旅行者向けに情報を提供している
- ・カーボン・オフセット：市民、企業、NPO/NGO、自治体、政府等の社会の構成員が、自らの温室効果ガスの排出を認識し、主体的にこれを削減する努力を行うとともに、削減が困難な部分の排出量について、他の場所で実現した温室効果ガスの排出削減・吸収量等（クレジット）を購入すること又は他の場所で排出削減・吸収を実現するプロジェクトや活動を実施すること等により、その排出量の全部又は一部を埋め合わせるという考え方

●【認証制度の例示】Green Destinations Standard (GDS)による
GSTC認証取得までのステップ（図2）

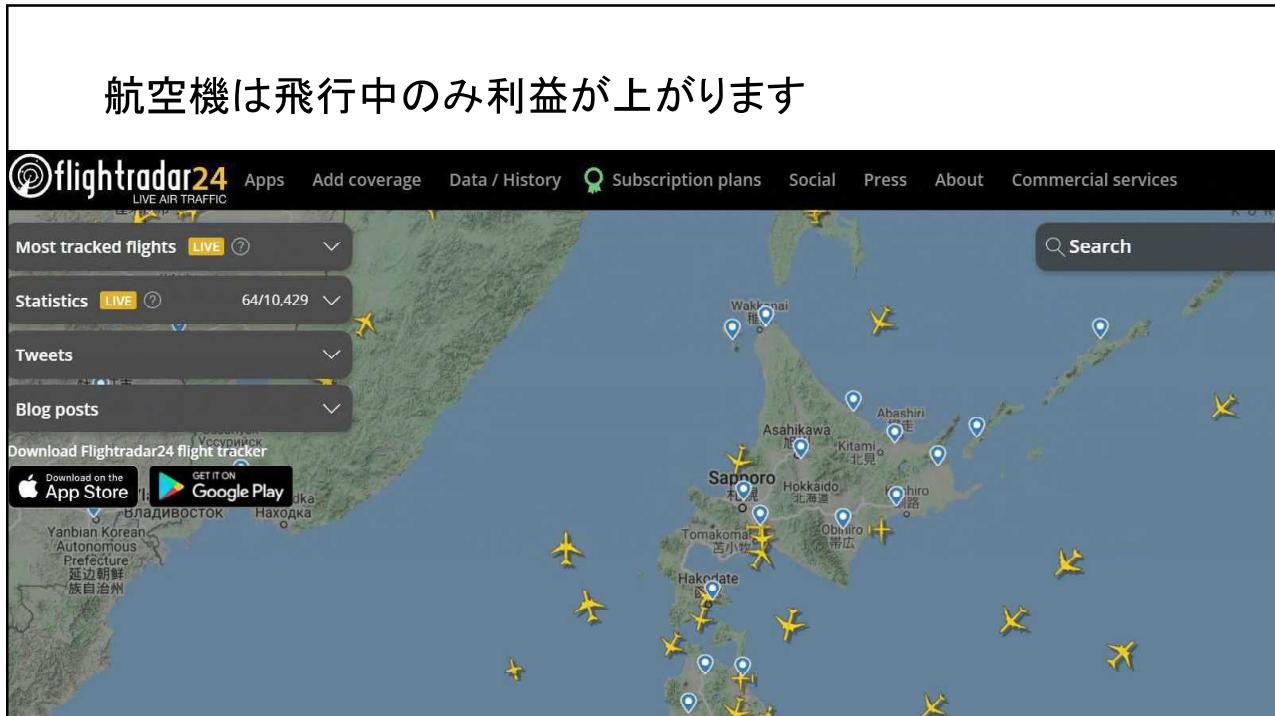
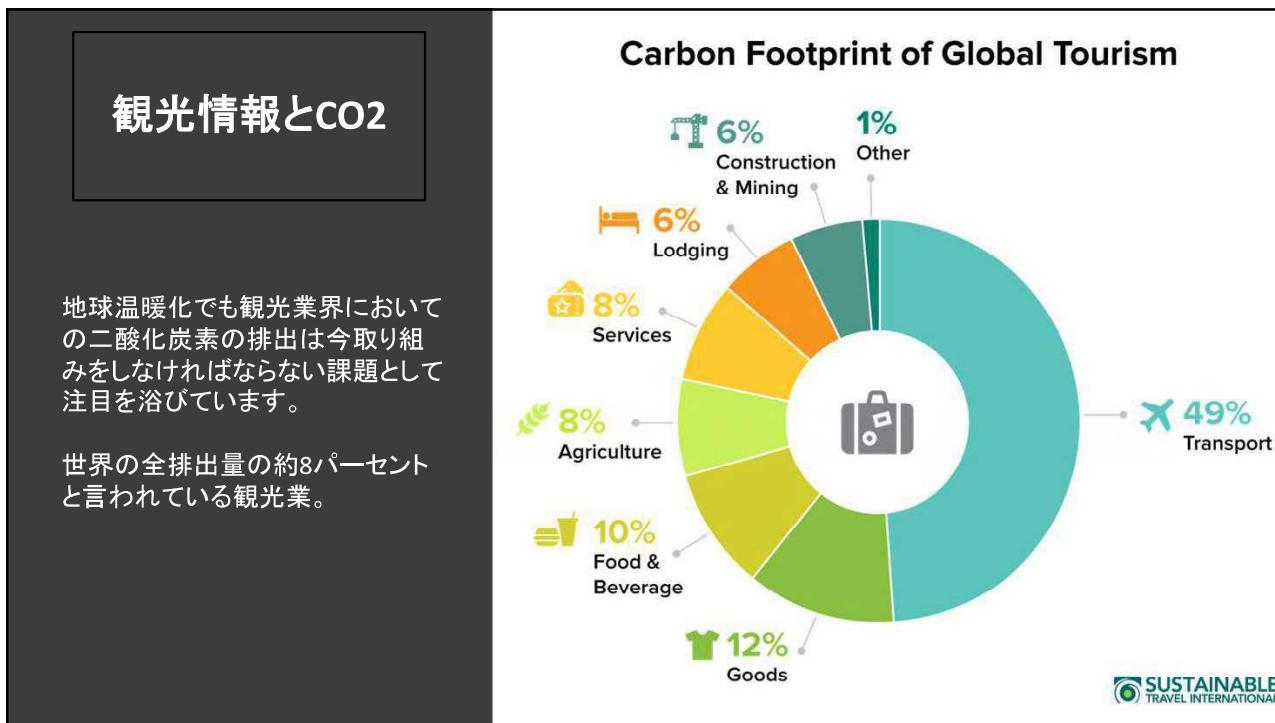


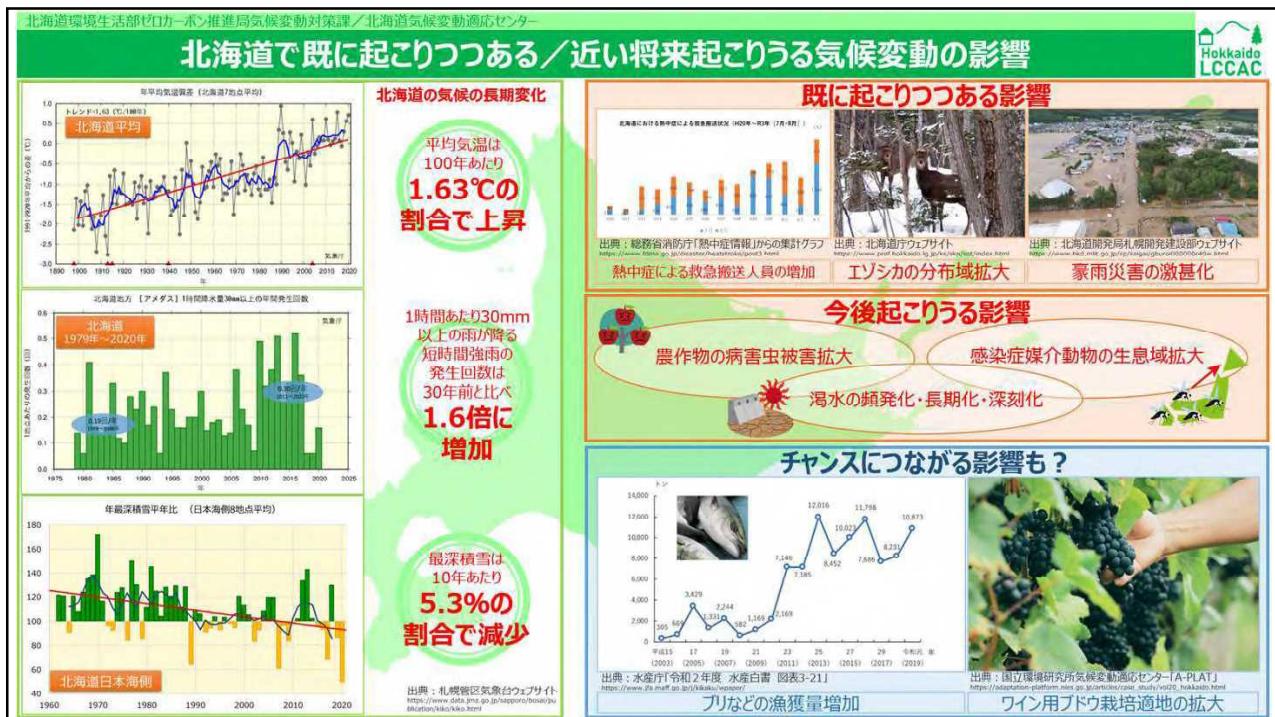
国際認証団体の一つであるグリーン・デスティネーションズ (GD)^{※1}では、GSTC-Dをベースとした100項目からなるGreen Destinations Standard (GDS) を設けており、これら全てについて、GDが設定する基準をクリア（基準を満たす）すると、観光地がGSTC認証を受けられる。

37









今の観光情報を考えてみる

訪れる人は何を目的に来ているのでしょうか？
地域はその人達を、持続可能性を高めることを支援する方々と思って集客や情報提供をしていますか？

施設・設備情報

館内設備

- 宴会場
- 大浴場
- 自動販売機
- 貸自転車
- 送迎バス
- ファックス送信可
- ルームサービス
- モーニングコール
- 宅配便
- ☆☆ 手モミ感覚マッサージ機 ☆☆
- 赤ちゃん用ベビーバス

部屋設備・備品

- | | |
|-----------------------|-------------|
| テレビ | 個別空調 |
| 衛星放送 | 洗浄機付トイレ(一部) |
| ビデオデッキ(貸出) | 石鹼(固形) |
| 電話 | ボディーソープ |
| ファックス(貸出) | シャンプー |
| インターネット接続(無線LAN形式) | リンス |
| インターネット接続(一部、I LAN形式) | ハミガキセット |
| お茶セット | カミソリ |
| 冷蔵庫(一部) | タオル |
| ドライヤー(貸出) | 浴衣 |
| アイロン(貸出) | スリッパ |

サステイナブルなおもてなしについてのハンドブック

Booking.comでは、サステイナブルな旅行がすべての人にとって身近なものとなるよう、日々努力を続けています。この努力はもちろん、パートナー施設の皆様なしに続けることはできません。こちらのサステイナビリティガイドは、私たちが旅行業界を共に変えていくための最初の一歩となるものです。

<https://partner.booking.com/ja/help/guides/sustainability-hospitality-handbook>

サステイナビリティへの取り組み

サステイナビリティへの取り組みを掲載して、貴施設がどのような形で環境問題に貢献しているかをゲストに知らせましょう。サステイナビリティへの取り組みについて詳しく読む

次のうち、ゴミや廃棄物を減らすために行っている取り組みはありますか？

冷水器 / ウォーターサーバー

はい いいえ

ゲスト用にリサイクル用ゴミ箱を用意し、ゴミをリサイクルしている

はい いいえ

食品廃棄に関するポリシーが定められている（教育、防止、削減、リサイクル、処分などについてを含む）

はい いいえ

次のうち、水の使用量を減らすために行っている取り組みはありますか？

タオル交換不要をゲストが希望可能

はい いいえ

毎日の清掃サービス不要をゲストが希望可能

はい いいえ

水を効率的に利用したトイレのみを設置している（節水型トイレ、洗浄ボタンが2種類ついたデュアルフラッシュトイレなど）

はい いいえ

水を効率的に利用したシャワーのみを設置している（スマートシャワー、節水シャワーヘッドなど）

はい いいえ

サステナビリティへの取り組み		
サステナビリティへの取り組みを掲載して、貴施設がどのような形で環境問題に貢献しているかをゲストに知らせましょう。サステナビリティへの取り組みについて詳しく読む		
次のうち、エネルギーの消費または温室効果ガスの排出量を減らすために行っている取り組みはありますか？		
客室内の電源をカードキーまたは人感センサーでコントロール	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
自転車レンタル	<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
選択してください		
80%以上の食品が地産である	<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
80%以上の照明が、エネルギー効率の良いLED電球を使用している	<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
すべての窓が複層ガラスである	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
認定された排出権を購入することにより、年間炭素排出量の10%以上を相殺している	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
宿泊施設全体の電力を100%再生可能エネルギーでま	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
次のうち、周辺地域やコミュニティを支援するために行っている取り組みはありますか？		
収益の一部を、社会事業やサステナビリティ事業に投資している	<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
地元のガイドや事業によるツアーやアクティビティを提供している	<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
現地のアーティスト向け、披露の場を提供している	<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
現地の生態系や遺産、文化に関する情報や、訪問者としてのマナーなどをゲストに教えている	<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
次のうち、環境への影響を軽減するために行っている取り組みはありますか？		
野生動物（飼育されていない動物）を敷地内で展示／触れ合せたり、加工等の為に捕獲したり、消費、販売していない	<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
敷地内に緑のあるスペースがある（庭、屋上庭園など）	<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ

使い捨てプラスチック製品の使用廃止		
使い捨てミニボトルに入ったシャンプー、コンディショナー、ボディソープを廃止した / これまで提供していない	<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
プラスチック製のストローを廃止した / これまで使用していない	<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
プラスチック製のカップを廃止した / これまで使用していない	<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
ペットボトル詰めの飲料水を廃止した / これまで提供していない	<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
ペットボトル詰めのその他の飲み物を廃止した / これまで提供していない	<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
プラスチック製のカトラリーや食器類を廃止した / これまで使用していない	<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ

<https://www.visitfinland.com/sustainable-finland/>

VisitFinland.com

Home Travel Info About Finland Destinations Seasons Experiences

My Stay Other sites English Search

TRAVEL SUSTAINABLY IN FINLAND

SCROLL DOWN

SUSTAINABLE TRAVEL FINLAND

By choosing Sustainable Travel Finland labelled provider, we know you respect and treasure the Finnish nature, its inhabitants and culture during your visit.

[SEARCH FOR PROVIDERS](#)

SUSTAINABLE TRAVEL DESTINATIONS AND COMPANIES IN FINLAND

[READ MORE](#) [DESTINATIONS & COMPANIES](#)



SUSTAINABLE TRAVEL FINLAND™

visitfinland.com/article/10-sustainable-travel-tips-in-finland/#941525c6

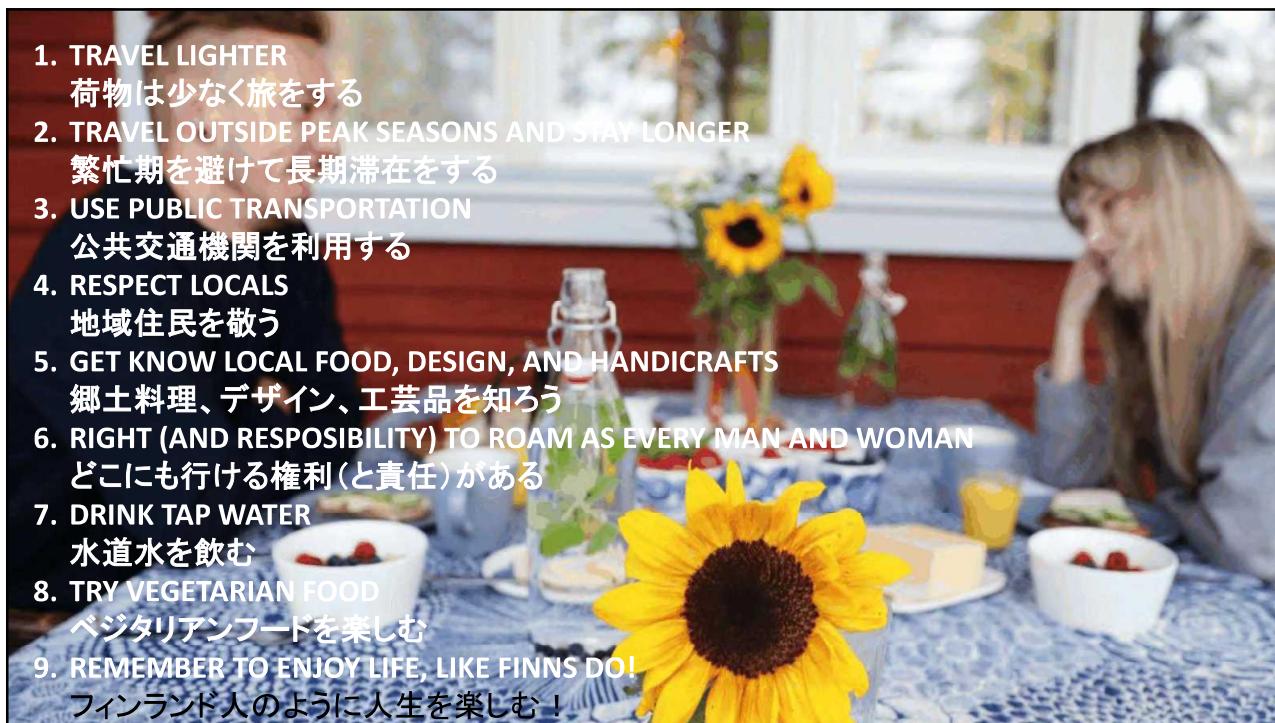
VisitFinland.com Home Travel Info About Finland Destinations Seasons Experiences My Stay Other sites English Open search



ARTICLE

10 SUSTAINABLE TRAVEL TIPS IN FINLAND

SCROLL DOWN



<https://www.gstcouncil.org/gstc-criteria/gstc-recognized-standards-for-hotels/>

GSTC基準に準拠する宿の認証団体も増え続けています。(一部のみ引用)



「世界から選ばれる、世界に認められる観光地」での情報について

計画段階

- 地元資本のガイドやオペレーターを予約
- オーガニックや郷土料理のお店を検索



「世界から選ばれる、世界に認められる観光地」での情報について

到着時

- 公共交通機関やエコモビリティーで移動する
- ごみは自分で責任をもって分別・処分



navitime.co.jp/transfer/

乗換案内

現在の電車運行状況 | 電車混雑状況

出発駅: 二ノ宮(JR) 到着駅: 城崎温泉

経由駅: 駅を入力 +さらに追加

日付: 2021年10月3日 カレンダー

時刻: 10 時 11 分 現在時刻 出発 到着 始発 終電

閉じる

フリーパス: 指定なし

P 無料お試しでフリーパスルート料金を確認

表示順序: CO2排出量が少ない 時間が早い 運賃が安い 乗換が少ない
 定期券区間優先

出発 10:35 発 三ノ宮

1時間8分 57.3km JR東海道山陽本線快速 網干行
前・中方車両 【対応済】一部の特急列車運休
途中の停車駅

11:43 着 姫路

48分 29.6km JR播但線 寺前行
途中の停車駅

12:40 着 寺前

49分 36.1km JR播但線 和田山行
途中の停車駅

13:35 着 和田山

44分 39.0km JR山陰本線 城崎温泉行
▲ 延滞・運転見合わせが発生中 運行状況詳細
途中の停車駅

14:35 着 到着 城崎温泉

3 10:22 発 → 13:49 着 三ノ宮

所要時間 3時間27分 乗換 1回 通常 ¥ 5,830円

迂回ルート検索 印刷 メール送信 カレンダー登録 ルート指摘

出発 10:22 発 三ノ宮

52分 73.4km JR東海道山陽本線新快速 野洲行
【対応済】一部の特急列車運休
途中の停車駅

11:14 着 京都

2時間24分 158.0km 31播但一本 <当駅始発>
JR山陰本線 特急きのさき5号 城崎温泉行
▲ 延滞・運転見合わせが発生中 運行状況詳細
▲ 【対応済】一部の特急列車運休
荷物パックについて
JR + 濱沿セレクトが 断然お得

途中の停車駅

運賃 4,070円
座席別料金: 1,760円 自由席
 2,290円 指定席
 4,560円 グリーン席
※座席を変更すると合計運賃が切り替わります

■CO2排出量 約3,240g ■CO2排出量 約4,628g

skyscanner.jp/environment



CO₂排出量の低減

飛行機のエンジンは燃料を燃やすため、どうしても二酸化炭素(CO₂)を排出してしまいます。運航が多くなるほど、CO₂を大気中に放出することになります。

ただし、機種によっては他の機種よりも燃料がかからず、CO₂の排出量が少ないものがあります。スカイスキャナーでは、そのような機種がわかるラベルを表示することにしました。旅行を計画する際の選択基準の一つとして参考にしてください。

昨年、1000万人の

旅行者が、スカイスキャナーで低排出のフライトを選択しました

2019年9月3日更新

空港

出発地

- CTS 札幌 新千歳
- OKD 札幌 丘珠

環境に優しいフライト

CO₂排出量の少ないフライトのみを表示する

CO ₂ 排出量が23%少ないフライトです	
「環境に優しいフライト」は、航空機の機種、乗客者数、経由地・乗り継ぎの数に基づいて判断されます。	
詳細を見る →	
	16:15 CTS → 18:15 UKB 直行便
	9:10 UKB → 11:00 CTS 直行便
12件の予約サイト ¥24,161	
詳細 →	

CO ₂ 排出量が5%少ないフライトです	
新型コロナウイルス感染症対策の評価：4/5	
	14:55 CTS → 16:55 UKB 直行便
	17:30 UKB → 19:25 CTS 直行便
9件の予約サイト ¥24,740	
詳細 →	

緩和対策

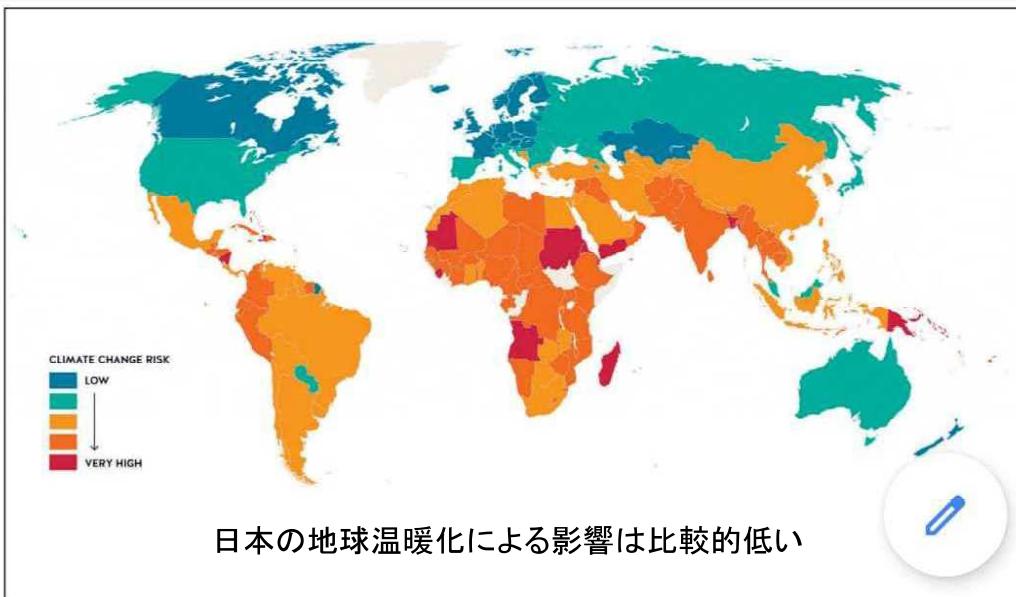
地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を抑制する

適応

既に起こりつつある、または起こりうる気候変動の影響に対処し、観光のあり方を調整することで、気候変動の影響による被害を回避・軽減する

どちらも対応が必要

ETC-Climate-Change-Report_FINAL.pdf



news.yahoo.co.jp/articles/44efafe26d7c8ad711966ab22a9077d5375d9d03

「」らく通with Travel Agent Affiliat... Expedia PartnerCen... Booking.com Extr... [楽天トラベル]インター...
コロナで経済的に苦しむ「ひとり親世帯」をご支援ください Yahoo! JAPAN

YAHOO! JAPAN ニュース amo***** -ポイント 日曜日はふるさと納税がおトク

キーワードを入力 | 検索

トップ 速報 ライブ 個人 オリジナル みんなの意見 ランキング 有料
主要 國内 國際 経済 エンタメ スポーツ IT 科学 ライフ 地域

観光分野の気候変動対策、「グラスゴー宣言」がCOP26で正式始動へ、CO2排出を今後10年で半減、2050年までにゼロに

9/24(金) 13:07 配信 0  

travel 観光産業ニュース
travel voice トラベルボイス



観光における気候変動対策に関するグラスゴー宣言が、2021年11月1日から英国グラスゴーで開催される第26回気候変動枠組条約締結国会議(COP26)で正式に立ち上げられる。グラスゴー宣言は、国連世界観光機関(UNWTO)が中心となり、観光分野での二酸化炭素排出量を削減する取り組み。今後10年で少なくとも半減させ、2050年までに排出量ゼロを目指す。

travelvoice.jp/20210204-148006

アプリ ログイン | らく通with Travel Agent Affiliat... Expedia PartnerCen... Booking.com Extr... [楽天トラベル]インター... Relux 管理画面

travel voice トラベルボイス 観光産業ニュース 読者数 No.1 メルマガ登録 検索

日本旅行、JR利用の「カーボン・オフセット」プランを販売、発着地の環境保全に活用

2021年02月04日 #日本旅行 #商品開発 #ホールセール商品 #SDGs

ツイート おすすめ 13 メールに転送 このページを印刷

日本旅行はSDGsの取り組みの一環として、カーボン・オフセットを取り入れた国内旅行プラン「JRセットプラン Carbon-Zero」を発売する。

カーボン・オフセットとは、日常や経済活動で避られないCO2などの温室効果ガスの排出量に見合った削減活動や投資を行うもの。この商品では、購入者が、旅行中のJR新幹線、特急列車の移動で発生する二酸化炭素排出量の相当額を別途支払うようにした。

JRセットプラン Carbon-Zeroオプションの概要



visitvalencia.com/en/news-room/valencia-becomes-first-city-world-verify-and-certify-carbon-footprint-it

スペイン・バレンシア：世界で初めて観光における温室効果ガスの排出量を測定し相殺する認証都市に

VLC VALENCIA The Official Website Plan your trip Things to do What's on

València becomes the first city in the world to verify and certify the carbon footprint of its tourist activity

Valencia | 10.07.2020 | 12:57

